

西鉄久留米駅周辺整備構想の策定について

本市の中心市街地においては、これまで平成23年3月にJR久留米駅の新幹線開業に伴う周辺整備、平成28年4月に六ツ門の井筒屋跡地を活用したシティプラザの整備を実施してきました。

しかし、西鉄久留米駅周辺は、昭和58年の再開発事業から40年以上経過し、当時と人口動向や公共交通利用者の数及び求められる施設ニーズが変わっているにも関わらず、都市機能も都市基盤も大きな更新がなされていません。

本市が目指す「コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市構造」への転換を図るため、西鉄久留米駅周辺における整備の基本となる構想を作成し、令和7年度に策定を予定している次期総合計画や都市計画マスタープランへの反映を行うものです。

1. 構想の概要 西鉄久留米駅を中心とした半径約500mを対象として、その範囲におけるポテンシャルと課題を整理し、まちづくりの基本方針や将来像を描く構想を策定するもの。

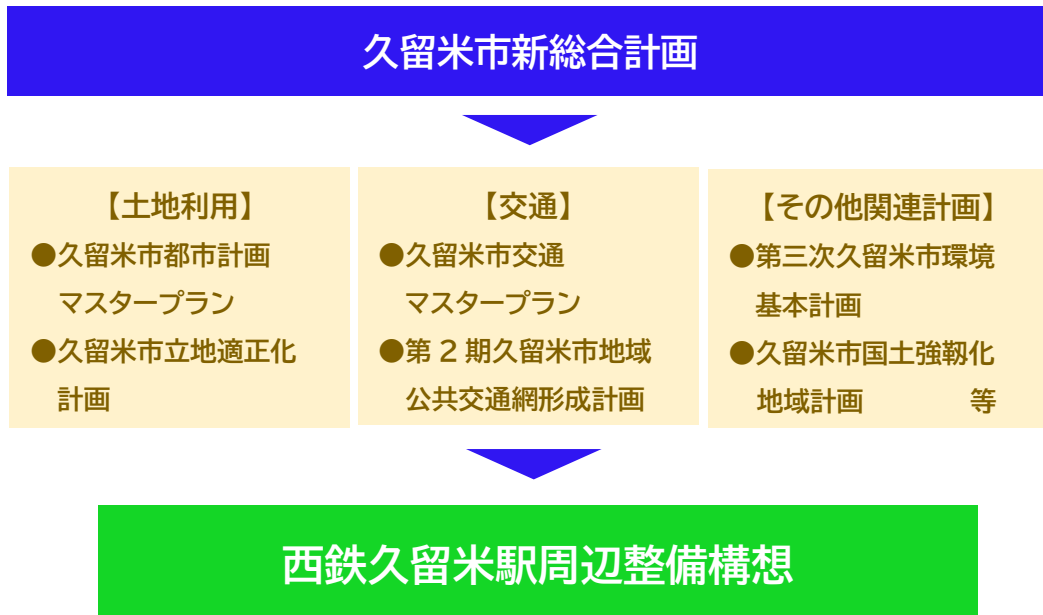
2. 会 議 名 西鉄久留米駅周辺整備構想会議

3. 委 員 有識者・関係行政機関（国・県・市）・交通事業者・地元まちづくり団体・交通管理者

4. 今後のスケジュール（予定）
 - 令和6年10月 第1回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議
 - 令和7年 1月 第2回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議
 - 令和7年 3月 パブリック・コメントの実施
 - 令和7年 5月 第3回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議
 - 令和7年 6月 西鉄久留米駅周辺整備構想策定

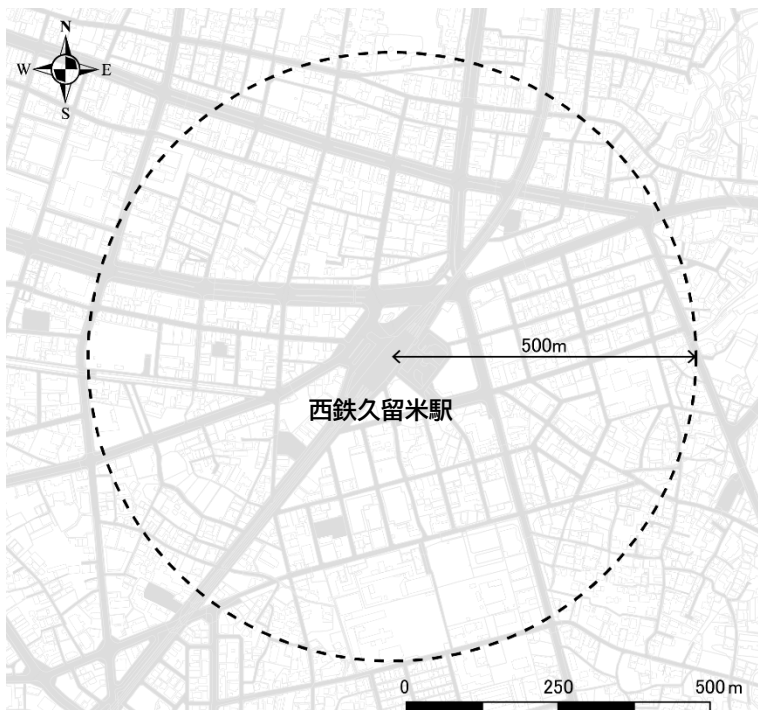
整備構想の位置付け

本構想は、本市のまちづくりにおける最上位計画である「久留米市新総合計画」に即するとともに、「久留米市都市計画マスタープラン」や「久留米市交通マスタープラン」、「第三次久留米市環境基本計画」等の上位計画における西鉄久留米駅周辺の整備方針を踏まえ、取り組みを具体化するとともに、各種事業の実践を進める上での指針となります。



対象範囲

本構想は、西鉄久留米駅を中心に半径 500m[※]を対象範囲とします。



※久留米市立地適正化計画における都市機能誘導区域(都市機能を都市の拠点に誘導し集約することにより、これら各種サービスを効率的に享受できる区域)の設定基準を参考に設定
※高齢者を含めた一般的な徒歩圏